



情報ギャラリー第24号
 発行日 2003年10月31日
 編集 グループ“わ”広報部
 発行者 赤司 松美
 発行元 神戸市シルバーカレッジ
 社会還元センターグループ“わ”
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103
 Eメール gallery@wa-net.jp
 ホームページ <http://www.wa-net.jp>

グループ“わ”の現状

グループ“わ”代表 赤司 松美



会員の皆様には
お健やかに過ご
しのこととお慶び
申し上げます。

更なる発展をめ
ざしたグループ“わ”の取り組みに
ついて本部便りとして現状を報告い
たします。

1. 開校10周年記念行事に対する “わ”の取り組みについて

9月24日(水)より28日
(日)の間、シルバーカレッジ開校
10周年記念として神戸文化ホール
での式典を皮切りに各種行事が展開
され、改めて建学の精神である「再
び学んで他のために」が再認識さ
れ、グループ“わ”のボランティア
活動に対する関係者の関心が集ま
り、ますますその活躍が期待される
ようになりました。

グループ“わ”も10周年記念事
業実行委員会の一翼を担い「地域交
流・体験事業部」としての行事運営
を担当し、その大役を無事果たすこ
とができました。

まず9月25日(木)、しあわせ
の村の施設との交流を深めるため、
カレッジホールで各施設入所者を対
象に「手をつなごうふれあい祭り」
を開催したところ、初めての試みに
もかかわらず計178名の参加者が
あり、有意義な交流が盛会の中に無
事終了することができました。これ
は福祉部会を初め関係者の熱意とこ
れまでのボランティア活動の成果が
遺憾なく発揮されたお陰だと感謝し
ています。

9月28日(日)は小学生親子を

対象に「親子で集まれ昔あそび」を
カレッジホールで開催し、親子計2
43名の参加があり、楽しく3世代
の交流を図りその目的を果たすこと
ができましたことは、文化部を中心
とした関係者の努力と長年蓄積され
たノウハウの成果だと深く感謝申し
上げます。

9月25日(木)に予定していた
「生き生きヘルシーニュースポー
ツ」の体験行事はあいにくの雨のため
残念ながら中止することに致しま
した。この行事は来る11月17日
(ジョイラックデー)に別メニュー
で実施する予定です。

2. 発展のための取り組み状況につ いて

1) NPO 法人格取得をめざして

継続した活動を維持し、更に積極
的な社会的活動を行うためには、現
在の任意団体から脱皮しNPO法人
格を取得し公的に認められた団体と
して信用を高め、行政および各種団
体より事業委託を受けやすい体制に
して経済的基盤を確立することが必
要と考えます。そのために昨年6月
よりNPO検討委員会を立ち上げ申
請手続きと申請書類の作成方法につ
いて県の指導を受け見通しをつけま
したが、会費制導入検討のためやむ
なく2月より一旦中断していました。

本年5月の総会において活動方針
の中でNPO法人格取得の提案が承
認されましたので同5月の法改正を
待って同7月より検討委員会を再開
し来年4月の取得をめざして作業を
推進しております。現時点では、1

2月初め会員への説明会を開催し、
引き続き運営委員、検討委員に最終
審議と発起人を委託し、NPO発起
人総会を得て12月下旬には申請手
続きをしたいと考えています。

2) ボランティア保険について

ボランティア活動による会員のケ
ガの補償、および事故による“わ”
が民法上の責任を負った場合の賠償
保証のために本年度は「兵庫県ボラ
ンティア活動など行事用保険」に全
員加入し、個人および団体として安
心して活動ができるようにしまし
た。ボランティア活動による事故に
対して“わ”の会員および団体とし
ての“わ”を補償する適切で有利な
保険はないかを検討するために、保
険業務に経験のある会員で保険検討
委員会を構成し、現在までに2回の
委員会を開催、あいおい損保(株)
の「NPO保険」が任意団体である
“わ”にも適用されるとの確認をし
た結果現段階では現在加入している
保険より適切で有利な保険と判断さ
れます、引き続き調査・検討を加え
て12月の運営委員会で審議でき
るよう提案書を提出する予定で業務推
進中であります。

3) 活動の場を広げるために

しあわせの村をはじめ、フラワ
ー・フルーツパーク等と各種行事へ
の連携参画について継続した協議を
進めております。手始めにフラワ
ー・フルーツパークの「神戸スロ
ライフウィーク」の行事(11月2
3日~30日)に参画することを決
定しております。

なお広報活動にも力を入れ、新規
ボランティア活動の場を広げて行く
ことと致します。

以上